



ら、そういった理由で飼って、初めてペットを飼うことの大変さを知り捨てる人がいるからだ。私も小さい頃は犬や猫はかわいいばかりだと思っていた。だが、ペットのお世話を手伝うようになってからはペットを飼うことの大変さを知った。犬や猫は人間とは違い、自分で何かをすることがあまりできない。散歩もご飯もトイレの掃除だってそうだ。でもその大変さを知ってもなお、動物に対して「かわいい」「や」「好き」と思える人こそがペットを飼う資格がある人なのだ。私は考える。私たち人間に飼われる犬や猫などの動物は捨てられることを望んでいる訳ではない。ならば初めから、自分のことを愛し、尽くしてくれる素敵な人に飼われる方がペットとしても幸せだと思う。だから、自分勝手な思いをもつ人には犬や猫を飼ってほしくない。

私は捨てられる命の数、殺処分される命の数をゼロにしたい。ただ少なくしたいのではなく、ゼロにしたいのだ。それは私が、犬

や猫などの全ての動物が幸せに生きられることを願っているからだ。確かに、大きさは小さい命かもしれない。でも、その命の尊さも一生懸命に生きる必死さも、何一つ人間とは変わらない。犬や猫が生きられる時間は人間より短い。そのため、人間の命と比べて軽視されることも多い。これが捨てられる命がなくならない原因の一つとも言えるだろう。また、殺処分される犬や猫の数についてだ。これも捨てられる数同様、減ってきてはいるがゼロではない。これは保健所で働く母が言っていたことなのだが、最近ではよほどのことがない限り殺処分というかたちをとることはないそうだ。数年前までは保護された後、一週間以内に引き取り人が来ない場合は殺処分することになっていったことを考えると、これは大きな進歩だ。だが、まだゼロには程遠い数だ。例えば、ペットショップから飼うのではなく、保健所や地域の動物保護団体から犬や猫を引き取るといったことができだろう。

私の家にも猫が二匹いるのだが、一匹がもともと野良猫だった猫で、もう一匹が保護団体から譲り受けた猫だ。犬や猫の引き取られた数、殺処分された数は減少している。その一方で返還された数、譲渡された数は増加している。このように、一度捨てられた命を救うこともできるのだ。これは犬や猫にとって一つの希望だ。でも私は、犬や猫に初めから幸せに生きてほしい。だから、捨てられる命、殺処分される命の数がゼロになることを願う。この世界に犬や猫などの動物に対する愛をもつ、優しい人が増えてほしい。そして、犬や猫などの全ての動物が幸せに生きられる未来になればいいと私は考える。